



## 第8回 公開学習会「労福協とは」 ( (社)千葉県労働者福祉協議会 )

9月29日

「労福協とは」をテーマに、(社)千葉県労働者福祉協議会の石田さんより講義を頂きました。3年前に作成された「千葉県労福協の基本理念」では、「職域から地域、現役から生涯、組織から未組織へと共生の社会運動としての広がりを念頭に活動を求めていく」をうたい、労働運動、社会運動、市民運動が融合したより広い社会運動へと活動を広げている。「福祉はひとつ」という労福協設立の原点をもとに、新しい取り組みとしての「ライフサポート」事業や、会費団体の「子育て支援グループちば」の活動には、参加者から質問や賛同の声が出ました。印象に残ったのは、「同質の協同は和(足し算)にしかならないが、異質なものの協働は積(掛け算)になり、計りしれないパワーを発揮する。」ということばです。消費者ネットちばにも通じると思います。「労福協さんの多彩な取組がよくわかりました。」との参加者の声です。



## 千葉県「消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業」に応募、審査通過

県が募集した県民提案型事業に応募した「近隣都県の消費者団体との交流シンポジウムの開催」がプレゼンテーションを経て、無事選定されました。30の提案事業のうち25が選ばれた一つになりました。消費者ネットちばの参加団体がそれぞれ独自に提案して選定された事業が多数あります。それらについても今後、各団体からご案内をいただき紹介できればと思いますのでお知らせください。シンポジウムは以下の予定です。

日時 2010年2月13日(土) 13:00~17:00

場所 労働者福祉センター

関東消費者ネットワーク交流シンポ

～よりよい消費者行政のために手をつなごう～

目的

- ① 近隣の消費者団体(地方消費者行政の活性化)の取組みを知ることにより、当ネットをはじめとする千葉県下における消費者団体のスキルアップを図る。
- ② 近隣の消費者団体との懇親を深め、継続的な協力関係を築く。
- ③ 県民に消費者団体の活動を知ってもらい、消費者運動の支援や参加の意識を高める。

## 地方消費者行政の充実にむけて市町村訪問中

河野代表幹事中心に、丸山常任幹事、拝師事務局長による、消費者行政への市町村の取り組みについて「聞き取りとお願いの旅」が続いています。既に、長生村、横芝光町で担当者より基金を使つての取り組みや今後の企画をお話しいただいています。今まで独自の相談体制がとられておらず、基金についても有効に使いたい但事務が煩雑など戸惑う現場の様子も聞こえているようです。各地域で皆さんが声を上げることが大切です。今後も続く予定の市町村行脚です。ご同行おねがいします。

## これからの予定

第9回 公開講座 全国消費生活相談員協会 前野 春枝 氏

10月28日 千葉市文化センター 9F 会議室2